

<発言者>

<項目・内容>

委員長

1 委員長挨拶

「暑い日が続くのでお互い体調に注意しないといけない。8月はお盆もあり、原爆の日、終戦記念日など重苦しい歴史を思い返す時季であるが、もう一つ重い出来事として、38年前の御巣鷹山の航空機墜落事故があり、歌手の坂本九さんが乗っておられて亡くなった。彼が歌っていた『上を向いて歩こう』という歌があるが、日本だけでなく世界で愛されている歌であり、今でも中学生の歌集に掲載されるなど歌い継がれている。良いものは時代を超えて普遍に受け入れられていくものであると感じた。」旨の発言があった。

警察本部

2 議題

(1) 島根県公安委員会の権限に属する事務の代行に関する規則の一部を改正する規則（案）

「島根県公安委員会の権限に属する事務の代行に関する規則の一部を改正する規則の案について説明する。1つ目は、道路交通法施行規則の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、本規則が引用している条項にずれが生じたため、所要の改正を行うものである。2つ目は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、本規則が引用している条項にずれが生じたため、所要の改正を行うものである。3つ目は、災害対策基本法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、本規則が引用している条項にずれが生じたため、所要の改正を行うとともに、災害対策基本法施行規則等の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、公安委員会の権限に属する事務に、標章等の書換え交付、再交付及び返納が規定されたことから、本部長が代行できる事務を追加するものである。施行期日は公布の日とする。ただし、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の部の改正規定は、令和5年10月1日とする。」旨の説明があり、原案のとおり決定した。

委員

[意見]「このとおりで良い。」

委員

[意見]「このとおりで良い。」

委員

[意見]「このとおりで良い。」

警察本部

(2) 再審査請求に対する対応方針

再審査請求に対する対応方針について説明があり、原案のとおり決定した。

3 報告

(1) 警察署協議会の活動状況等（令和5年4月～6月）

警 察 本 部

「警察署協議会の活動状況等について報告する。江津署、隠岐の島署、浦郷署は、警察官募集活動について諮問を行った。浦郷署協議会からは、警察の仕事の魅力をアピールすることが大事であり、若い職員から警察の仕事の魅力について情報発信させてはどうかとの意見があった。現在、若い職員をリクルーターに指定して、出身校の学生に対し、警察の魅力等を紹介しており、引き続き丁寧の説明を行う予定である。また、浜田署では、自転車のヘルメット着用努力義務化について諮問を行い、指導する際、ヘルメットを着用する理由について説明するのが良いとの意見があり、県立大学においてヘルメット着用の必要性の説明及びヘルメットの展示を行った。各種対策として、雲南署協議会から、特殊詐欺被害防止対策について、ギミックポスターはインパクトがあり有効であるので、更に活用してほしいとの意見があり、今後増刷し、関係機関等に配布予定である。出雲署協議会からは、交通事故防止対策について、高齢者参加型の講習はとてもためになるとの意見があり、引き続き自動車シミュレータ等を活用した交通教室を実施する予定である。視察等を通じた理解促進活動として、松江署では、組立型、携帯型の金属探知機による危険物発見の体験、大田署などの6署では留置施設等庁舎施設の視察、安来署及び江津署では逮捕術訓練視察、浦郷署では災害警備訓練視察を行った。主な意見、提言では、隠岐の島署協議会から鍵かけについて、島内の人は鍵をかける習慣のない人が多いが、防犯のためには鍵をかけることが大切であるとの意見があり、子供の頃から鍵をかける習慣付けをすることが大切であり、引き続き、防犯教室での指導を行っていく予定である。津和野署協議会からは、ドライブレコーダーの映像を活用し、交通違反の検挙、指導警告を行い、交通事故防止につなげてほしいとの意見があり、あおり運転等の交通関係の検挙に限らず、その他の事件検挙にも活用できるので、ドライブレコーダーの映像活用について御協力をお願いする旨を回答した。」旨の報告があった。

委

員

[意見]「各署の協議会では、闊達な意見交換が行われており頼もしく感じる。協議会委員に多様な人材がいることで闊達な場になることにつながるので、今後も多様な人材確保に努めてほしい。」

委

員

[意見]「ギミックポスターは、手作りか。」

警察本部	[説明]「デザインはお店の意見を参考にして、警察官が行い、業者が作製した。目の部分は手作業である。ポスターの警察官は雲南署の地域警察官である。」
委員	[意見]「各署協議会の委員は熱心で様々な意見が出され、警察署側もこれを真摯に受け止めて可能な範囲で業務に反映させている。今後も県民の声を大事にしてほしい。」
委員	[意見]「焦点化するべきものとフリートークするものを分けて進めていくと、より効果的になると感じた。警察と地域のパイプ役として意見を述べるのはもちろん、警察の業務に触れて地域に持ち帰ってもらうことは大変意義深いことである。」
警察本部	<p>(2) 島根県警察オープンポリス（職業体験）の開催</p> <p>「8月16日の午前10時から午後3時15分までの間、島根県警察学校において、警察官という仕事に関心を持つ者に対し、職業体験や職員との交流を通じて仕事のやりがいや魅力を伝えることで警察官志望者を増やし、優秀な人材確保につなげる目的で、島根県警察オープンポリスを開催した。参加者は76人で事前申込制により高校生、専門学校生、大学生、社会人が出席した。保護者の参加は20人であった。実施内容は、警察学校施設見学、授業見学、白バイ、パトカー見学、職務質問体験、捜索差押体験、機動隊訓練体験、鑑識体験、警察職員との座談会を行った。参加者からは、今日会った警察官のようになりたいと思った、警察業務について深く知ることができ、将来について深く考える機会になったなどの前向きな感想が寄せられた。」旨の報告があった。</p>
委員	[意見]「警察官志望者を増やすのに、効果的な取組である。」
委員	[意見]「人材確保に向けた良い取組である。警察官が実際にどうしているかを聞いて体験できることは良いことである。こうした場で事前に体験できる機会は貴重である。また、同伴した保護者も、子供が就く職業の理解につながる。準備等大変だが、今後も続けてほしい。」
警察本部	[意見]「参加者の募集は島根県内なのか。」
警察本部	[説明]「県警ホームページへの掲載や、中四国、九州及び近畿地方の居住者に対してインスタグラム広告の掲載を行うなど、島根県内に限らず募った。」
委員	[意見]「参加者の受け皿を増やすため、学校と相談して参加しやすい時期を検討するなど、より多くの人にPRできるようにしてほしい。また、警察官以外の職種の紹介や、厳しい業務面をマイナスイメージではなく、やりがいを感じられる方法で伝えることも必要だと思う。」

警察本部	(3) 苦情の取扱状況（令和5年7月） 苦情の取扱状況（令和5年7月）について報告があった。
警察本部	(4) 令和5年度島根県警察通信指令競技会の開催 「令和5年7月25日、島根県警察学校において、令和5年度島根県警察通信指令競技会を開催した。開催目的は、重大事案等の発生に際し、組織的かつ迅速的確な初動警察活動を行うため、その要となる通信指令を担う警察官の通信指令技能の向上、現場警察官の無線通話の技能等の底上げを図ることである。出場者は、県下12署から1チーム2人ずつの参加で合計24人であった。競技内容は、出場者は、警察署通信指令担当と現場警察官役に分かれて競技を行い、通信指令能力と無線通話技能及び相互の連携等について審査を実施した。想定は、万引き犯人がコンビニ店員を殴って傷害を負わせて逃走する強盗致傷事件について、事件現場付近をパトロール中の警察官が同店店員から被害申告を受理する内容であった。競技結果は、優勝が松江警察署、準優勝は安来警察署、第3位は出雲警察署であった。なお、本年9月に管区大会が予定されており、同大会で1位になれば11月に開催予定の全国大会への出場権を獲得する。」旨の報告があった。
委員	[意見] 「事案対応には、初動対応が肝心だと感じた。事案の中には、救急対応など警察だけでは収まらないことも多いと思うので、こうした視点も大事にしてほしい。」
委員	[意見] 「いろいろな現場を想定して訓練が行われている。競技会で成績を残すことも大事だが、全員がそのようなスキルを身に付ける必要があるので、出場者のみならず全体の底上げもお願いする。」
警察本部	[意見] 「競技会の『想定』は、その場で知らせるのか。」
警察本部	[説明] 「想定具体的な中身はその場で伝える。」
警察本部	[意見] 「競技会において、優劣の差はどこでつくのか。」
警察本部	[説明] 「手配に必要な聴取事項をいかに早く、署通信指令室に報告できるかがポイントである。1から10まで全て聞いてから報告をすると想定が進んでいかないので時間切れになる。」
警察本部	[説明] 「現場の警察官がいかに要領よく被害者に事実関係を聞き出すかといった点で差がつく。上手く聞き出せない場合は、指令役が聴取する内容を指示する。そこのコンビネーションが大事で、いかに迅速に聞き出せるかが重要である。」
委員	[意見] 「事件が起きた際には、必要な情報をいかに早く聴取し、共有していくことが重要である。上の大会に向け頑張ってもらいたい。」

4 連絡事項

第55回交通安全子供自転車全国大会の開催結果

警 察 本 部

「8月9日に東京ビッグサイトで開催された、第55回交通安全子供自転車全国大会に島根県代表の中央小学校が参加し、過去の最高成績のタイ記録である7位の好成績であった。」旨の報告があった。

委 員

[意見]「この活動が広がると良いと思う。」

5 本部長総括

本 部 長

「オープンポリスについては、若手職員が中心になって工夫して企画し、参加者も興味を持って参加している様子であった。一般の方から見ると警察はどうしても敷居が高いと思うので、まずは警察の活動を知ってもらう、やり甲斐を感じてもらうことと、警察官そのものに接してもらい、人として身近に感じてもらうことにより、職業の選択肢の一つとして考えてもらうきっかけになればと思う。委員長の御指摘のとおり、もっと機会を増やしたり、気軽に参加できる開催方法も検討する必要があるし、警察の『厳しさ』の伝え方についても意識する必要があると思う。」旨の発言があった。